

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス飛行船		公表日		2026年3月2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・おやつ、宿題、活動時とテーブルを分けています。個別対応時（不穏時や作業等）にもスペースを分けて対応しています。	・活動内容によってはスペースが狭く感じる場面があります。テーブルの位置や活動内容を工夫し、のびのび体を動かせるよう配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・できるところはバリアフリー化しています。 ・死角になる場所があるため見える場所に職員が位置しています。 ・動線に沿ってホワイトボードやロッカーを設置しています。 ・文房具を引き出しケースに入れて、活動に応じて使えるようにしています。	・児童の様子や動線を確認し、配置等工夫していきたいと考えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・活動内容に合わせて変えています。 ・キッチンにてクールダウンできるようにしています。 ・体調不良時の児童にはつい立を用いて隔離しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・法人内の事業所間での相互監査を毎年実施し、制度事業の点検を行っています。 ・虐待防止委員会、身体拘束廃止委員会を設置し地域の第三者に参加していただき年2回開催しています。	・第三者による外部評価を実施するにあたり業者に委託する必要があります。費用がかかりすぎるため実施に至っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・月ごとに活動計画を決め、5領域に沿った活動を実施しています。	・令和8年度より曜日によって5領域の活動内容に偏りが無いよう、日ごとに活動内容を決め実施します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・終了後に出来ない時は朝や業務前のミーティング時に報告し共有しています。 ・その日の様子や気づきはケア後記録に記入し共有しています。 ・支援について共有する必要がある時には申し送りノートにて職員全員が確認し共有できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・活動を複数準備したり、やりたいことを自分で決める日（自由活動の日）を設けています。 ・児童の様子や体調により本人に聞き取りをしながら、活動の輪から離れてゆっくり過ごすことを提案する日もあります。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・必要に応じて行っている。連絡が取れるように体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・『ふれあい感謝祭』や親子レクリエーション、他事業所訪問、合同行事にて交流の機会を設けています。 ・1月には子育てイベントにて山形、宮城、岩手の放デイ児童とzoomにて交流しました。 ・隣の公園にて遊びに来ていた児童と一緒にサッカーをして遊ぶことができました。	・近隣の児童クラブとの交流は、合同で避難訓練をやりたいと連絡を取り合っていますがタイミングを合わせる事が難しい状況です。 ・行事やイベントを開催し地域の児童との交流の機会を持ちたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・情報がある際には配布物等でお知らせしています。 ・保護者交流会や親子レクリエーションにてデイの様子や支援についてお話を機会を設けています。	・保護者交流会にて支援についての勉強会を実施したいと考えています。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・今年度は6月に保護者交流会、1月に親子レクリエーションを実施しました。	・令和8年度も事業計画に沿って実施予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・『飛行船だより』を毎月発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・『ふれあい感謝祭』、ハロウィン行事、クリスマス会、小展、『ちゃばなし会』、ボランティアさんによる読み聞かせ会等を実施し地域交流の機会としています。 ・自治会の回覧におたよりを配布したり、滝沢市社会福祉協議会におたよりを掲示しています。	・次年度も地域交流事業を継続していきたいと考えています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・避難訓練を毎月実施しており、今年度は滝沢市の消防署と連携し通報訓練、民生委員の方に協力して頂いての不審者対応訓練を実施しました。	・事業継続計画を実施し見直しながら体制を整えていきたいと考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・現在該当する児童はありません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		・災害伝言ダイヤルを利用できるように体制を整えて、災害時に保護者と連絡が取れるように整備します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		